

「福島県への教育旅行に関するアンケート調査」調査結果

1 はじめに

福島県は、会津地方を中心とした歴史学習や豊かな自然環境を生かした体験学習を推進し、震災前の平成21年度には延べ宿泊者数で年間約709,932人泊（※）を受け入れていました。

しかし、平成23年3月の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による風評等により、平成28年度の延べ宿泊者数は435,468人泊（※）と、平成21年度の61.3%に留まっています。

本調査は、復興庁及び文部科学省の御協力のもと、教育旅行人泊数が過去最高であった平成21年度に5,000人泊以上あった首都圏及び近県（宮城県、山形県を除く）の小中学校における教育旅行の来県実績や検討状況を調査・分析し、教育旅行の回復に向けた効果的な誘致活動に活用するため実施したものです。

※出典：福島県観光交流局観光交流課「平成28年度福島県教育旅行入込調査報告書」

2 調査概要

ア 調査方法 アンケート方式

イ 回答校 茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県内の小中学校5,527校
（うち小学校3,692校、中学校1,835校）

ウ 回答率 73.3%（文科省「学校基本調査」の学校数を分母とした場合）

エ 調査実施 福島県観光交流局観光交流課

オ 協力 復興庁、文部科学省

【参考】回答エリア内の学校数

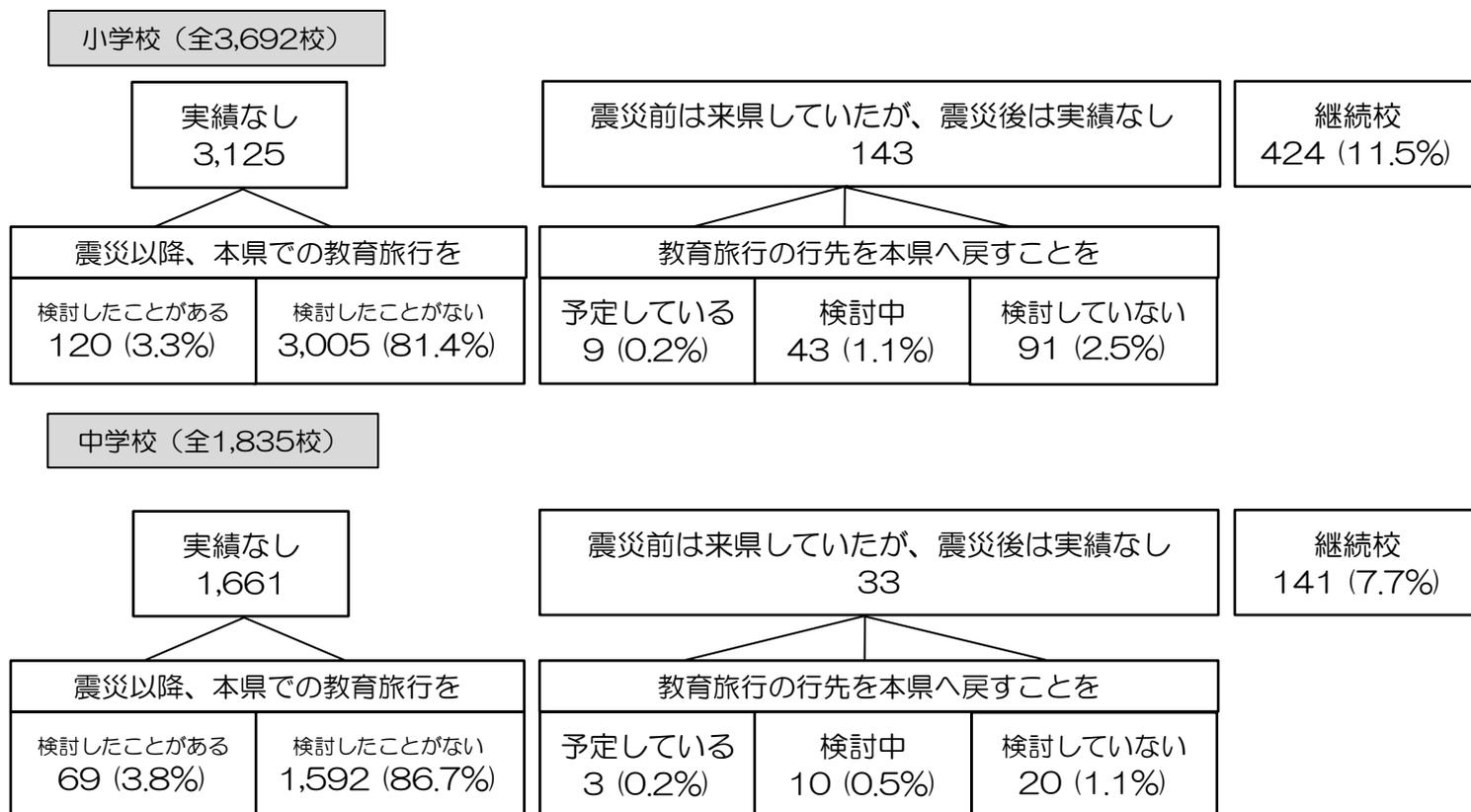
小中学校7,540校（うち小学校5,108校、中学校2,432校）

出典：文部科学省「平成28年度学校基本調査」

3 調査結果

（単位：校）

Q1 来県実績



4 今後の方針

- アンケート結果の検討状況に応じて優先順位をつけ、訪問対象校を絞り込む
- 本県への訪問意欲のある学校を重点的に訪問する等、効果的な取組を行う
（例）前向きに検討している学校→学校目線で関心分野をとらえ、具体的なコンテンツを提案する
震災後、来県しなくなった学校→震災後の新たなコンテンツや助成制度を丁寧に発信する